

■皆川マス 益子焼最後の絵師。

みながわます

佐賀の乱・・・1874＝ 栃木県真岡西田井に生れる。

明治14年政変1881＝ 7歳：

岩倉具視没・1883＝ 9歳： 益子町の烏羽絵師皆川伝次郎の養女となり、

養父から土瓶の山水絵付を学び、

初の対等条約1888＝14歳： 絵付職人として働きはじめる。

帝国憲法発布1889＝15歳：

1日に500～700個、簡単なものは1200個も描いた。益子の土瓶はこの頃が最盛期で、関東一円の小学校の昼食時にお茶用に使われた。

大本教・・・1892＝18歳：

日清戦争始・1894＝20歳：

田中正造直訴1901＝27歳：

日露戦争終・1905＝31歳：

韓国併合・・・1910＝36歳：

明治天皇没・1912＝38歳：

ベルサイ条約・1919＝45歳：

原敬首相暗殺1921＝47歳：

共産党事件・1928＝54歳：

海軍軍縮条約1930＝56歳：*この年益子に移住してきた陶芸家浜田庄司が柳宗悦らと、マスの絵付した土瓶を美しく確かな芸と紹介、

満州事変・・・1931＝57歳：

日中戦争始・1937＝63歳：

健保+総動員 1938＝64歳：*ベルリンで開催された第1回国際手芸博覧会にマスの絵付土瓶が出品され、特選を受賞した。

日米開戦・・・1941＝67歳：

敗戦・・・1945＝71歳：

新憲法公布・1946＝72歳：

新憲法施行・1947＝73歳：*昭和天皇が益子町の窯業指導所に行幸した時、マスの絵付を見て感銘し、"さえもなき娼のゑがくすゑものを人のめづるもおもしろきかな"と詠んだりしたが、

独立回復・・・1951＝77歳：

晩年は孫娘ヒロに絵付を伝えるのに心をくだいた。

土瓶の売行きが減るとともに、絵師も少くなり、最後の絵師となって、

55年体制始・1955＝81歳：

安保闘争・・・1960＝86歳：

没した。

遺品は「陶筆譜」「皆川マス筆益子土瓶絵づくし」「山水画の花瓶」などに収められている。